

週間漁海況情報—第23号

平成26年6月9日

内容は水産研究課ホームページ <http://www.pref.tokushima.jp/tafftsc/suisan/> で公開され、原則として毎週月曜日夜間に更新します。

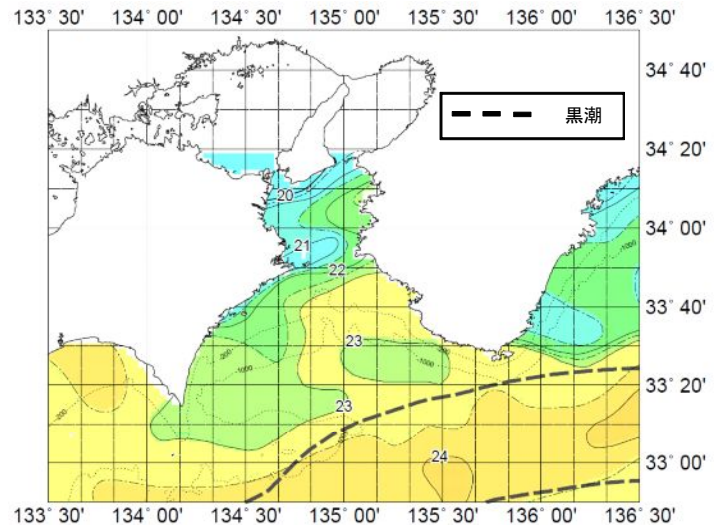
徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究課

1. 海況の経過

右に千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、三重県及び和歌山県が共同で作成した海況図（H26.6.9）を示した。

黒潮は、室戸岬沖でやや離岸、潮岬沖で接岸している。

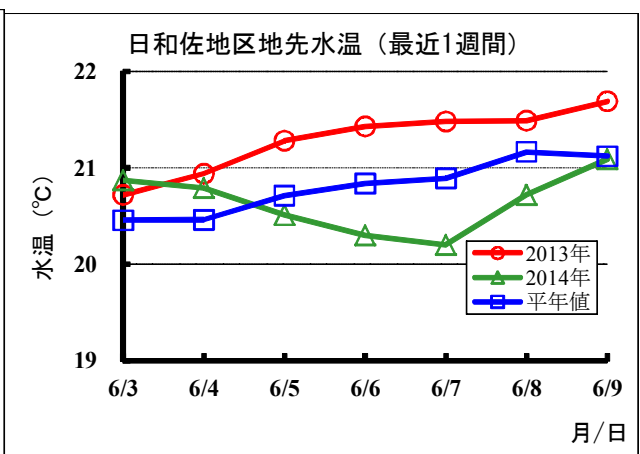
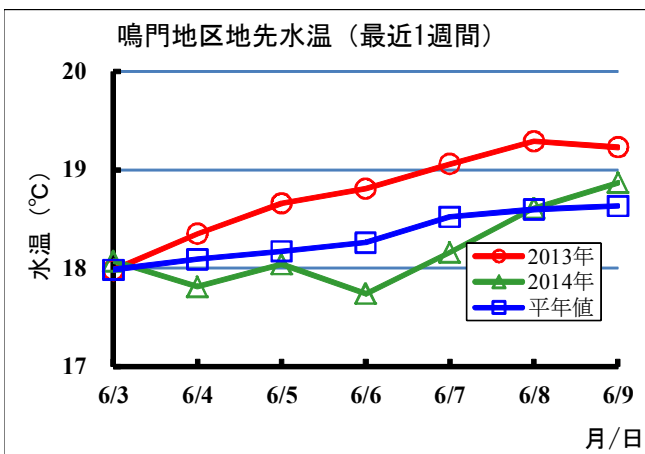
黒潮本流の表面水温は、概ね23℃台である。徳島沿岸の表面水温は、播磨灘で19℃台、紀伊水道では19～22℃台、海部沿岸は20～22℃台である。海部沿岸では、22℃以下の内海系水に覆われている。



漁業調査船「とくしま」で6月2日に行った播磨灘海区の海洋観測では、表層～10m層は「やや高め」の19.7～18.1℃、20m層は「平年並」の17.2℃、30m層は「やや高め」の16.8℃であった。

播磨灘海区観測結果

| 観測日 | | 水 温 | | | | 塩 分 | | | |
|-----|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| | | 表層 | 10m | 20m | 30m | 表層 | 10m | 20m | 30m |
| 6/2 | 今年値 | 19.7 | 18.1 | 17.2 | 16.8 | 32.1 | 32.1 | 32.2 | 32.3 |
| | 平年偏差 | 0.7 | 0.5 | 0.2 | 0.9 | -0.1 | -0.1 | -0.1 | -0.1 |
| | 前年偏差 | 1.3 | 0.5 | -0.1 | 0.3 | -0.3 | -0.2 | -0.2 | -0.1 |



地先水温 最近7日間の地先水温は、鳴門地区は「やや低め」～「平年並み」の17.7～18.9℃、日和佐地区は「やや低め」～「平年並み」の20.2～21.9℃、牟岐地区は「やや低め」～「平年並み」の20.5～21.4℃で推移した。

* 水温偏差の目安

平年並：±0.49以下、やや高め（やや低め）：±0.50～1.49、高め（低め）：±1.50～2.49、かなり高め（かなり低め）：±2.50以上

* 平年値 鳴門地区：1981～2010年の平均値、日和佐地区：1982～2010年の平均値

2. 漁況の経過

小型定置網：海部沿岸でマイワシが7.8トン（1日1隻当たり278kg）、ウルメイワシが1.5トン（同57kg）、カタクチイワシが0.3トン（同35kg）、小小主体にサバ類が1.3トン（同58kg）水揚げされた。

大型定置網：海部沿岸でイワシ類が7.8トン（同1,563kg）、特大・大主体にマアジが1.5トン（同300kg）、小主体にサバ類が2.8トン（同553kg）、マルソウダが0.9トン（同172kg）、大主体にシイラが0.9トン（同176kg）、特大・大主体にイサキが0.3トン（同50kg）、メジロが0.2トン（同45kg）水揚げされた。

パッチ網：紀伊水道でシラスが23.3トン（同375kg）水揚げされた。

漁業種別集計表（抜粋） 2014年6月2日～2014年6月9日

県下6漁協から聞き取り

| 漁業種類 | 漁獲海域 | 魚種 | 延べ出漁隻数 | 漁獲量(kg) | 1日1隻当たり漁獲量(kg) | 銘柄・その他 |
|-------|------|---------|--------|---------|----------------|--------|
| 小型定置網 | 海部沿岸 | マイワシ | 28 | 7,780 | 278 | |
| | | ウルメイワシ | 26 | 1,492 | 57 | |
| | | カタクチイワシ | 9 | 312 | 35 | |
| | | サバ類 | 22 | 1,278 | 58 | 小小主体 |
| イワシ類 | | 5 | 7,813 | 1,563 | | |
| マアジ | | 5 | 1,501 | 300 | 特大・大主体 | |
| サバ類 | | 5 | 2,765 | 553 | 小主体 | |
| マルソウダ | | 5 | 859 | 172 | | |
| シイラ | | 5 | 878 | 176 | 大主体 | |
| イサキ | | 5 | 250 | 50 | 特大・大主体 | |
| メジロ | 5 | 224 | 45 | | | |
| パッチ網 | 紀伊水道 | シラス | 62 | 23,250 | 375 | |

昨年同時期の主な漁獲傾向：昨年の6月3日～6月9日には、海部沿岸では、延縄で大・中・小主体にアカムツが1.5トン、大主体にキダイが0.2トン、小型定置網で、マメ主体にマアジが1.2トン、マイワシが1.8トン、ウルメイワシが1.0トン、トビウオ類が0.7トン、小小主体にアカカマスが0.2トン、アオリイカが0.3トン、大型定置網で、大主体にマアジが3.6トン、中主体にムロアジが0.4トン、イワシ類が1.7トン、中主体にイサキが0.6トン、マルソウダが52.0トン、大主体にスマが0.3トン、大・小主体にシイラが3.7トン、釣りで、中・大主体にカツオが12.5トン、中・大主体にキハダマグロが4.1トン、中主体にイサキが0.3トン、大主体にシイラが0.4トン、紀伊水道では、パッチ網で、シラスが65.9トン水揚げされた。

週間予報：黒潮は、室戸岬沖において「やや離岸」から「接岸」、潮岬沖において「接岸」で推移する見込み。地先水温は、鳴門地先で「平年並」の19～20℃台、日和佐地先で「平年並」の21～22℃台で推移する見込み。